

ニューズレター 経済教育学会

2019. May. No.31

第 35 回全国大会のご案内・1-4 春季研究集会のご報告・5 12/1 理事会議事録、3/23 拡大理事会議事録・6-8

2019 年度 全国大会 愛知県犬山で開催！

2019 年 9 月 28 日(土) ～29 日(日) / 会場：名古屋経済大学犬山キャンパス

大会実行委員長 高橋 勝也 (名古屋経済大学)

大会テーマ

これからの社会をリードする「教育」

—経済教育が果たす学習指導要領改訂を踏まえる高大接続システム—



経済教育学会第 35 回全国大会を 2019 年 9 月 28 日(土)～9 月 29 日(日)の両日に、名古屋経済大学犬山キャンパスで開催させて頂くことになりました。愛知県での開催は 2011 年 9 月の第 27 回全国大会(椋山女学園大学)以来 8 年ぶりです。本大会は、一昨年締結された日韓の経済教育学会協定締結をさらに発展させるとともに、教育に重点を置く「これからの社会をリードする『教育』—経済教育が果たす学習指導要領改訂を踏まえる高大接続システム—」を全体テーマにいたします。9 月 28 日は全体テーマに関する基調講演およびシンポジウムを開催します。中学校・高等学校をはじめとする学習指導要領を責任ある立場で作成された合田哲雄氏(文部科学省初等中等教育局財務課長・元教育課程課長)に講演していただきます。次いで、教育現場における経験豊富な中学校・高等学校・大学それぞれを代表する先生方を交えてパネルディスカッションを行います。9 月 29 日は例年通りの分科会のほかに、韓国特別分科会も開催して、両学会の交流を深め、さらなる発展を目指します。

大会・シンポジウムテーマの趣旨

これからの社会をリードする「教育」

—経済教育が果たす学習指導要領改訂を踏まえる高大接続システム—

人工知能（A I）の飛躍的進化は社会を劇的に変化させていく。しかし、初等教育・中等教育・高等教育の現場にいる私たちでさえ、未来社会の具体像を子供たちに示すことは難しい。そのような中、A Iは所詮与えられた目的に向かって作業処理を行っていく存在であることを忘れてはならない。A Iでさえ、不可能な場合に本領を発揮するのが、これからの生きる若者たちを中心とする人間なのである。小中高揃い踏みした新学習指導要領は、「主体的・対話的で深い学び」の実現を求めている。本学会であれば経済教育固有においての見方・考え方を学校での学びで育み、子供たちが獲得した力を未来社会に架橋できるようにするという私たちの使命を表しているものであろう。平成最後の学習指導要領改訂は、高大接続システム改革と足並みを揃えて進めていることも肝である。学校教育で概念を軸に知識を構造的に理解させたとしても、大学入試が近づくたびに知識を再生するだけの反復作業を強いる学習が重視されていた反省が根底にある。現代社会における新たな価値を創造する現場では、すでに私たちでは知り得ない地殻変動が起きている。それらを真摯に見つめ見極め、受け止める姿勢を自ら求める必要がある。そのためにも、本大会において、これからは「教育」が社会をリードするという共通認識が、会員相互で深まっていくことを切に望むものである。このとき、経済教育が果たすべき役割は、とてつもなく大きなものになることは、言うまでもない。

プログラム（暫定）

第 1 日（9 月 28 日・土曜日）

10:30-12:00 理事会 ※例年より、30分早めています

12:00- 受付

13:00-16:50 基調講演・シンポジウム

基調講演

合田 哲雄 氏 文部科学省初等中等教育局前教育課程課長

パネルディスカッション（進行 山根 栄次 会員）

伊藤 達也 氏（名古屋市立志段味中学校 教諭）

森 尚久 氏（愛知県立緑丘高等学校 教頭）

竹澤 伸一 氏（名古屋産業大学現代ビジネス学部 教授）

合田 哲雄 氏

17:00-17:45 学会総会

18:00-19:30 懇親会

第 2 日（9 月 29 日・日曜日） ※ 暫定時間です

9:30-12:00 分科会報告

12:00-13:00 理事会

13:00-15:00 分科会報告

第 35 回全国大会（2019 年）自由論題報告募集

9 月 29 日は午前、午後に自由論題の分科会を設けます。奮ってご応募ください。

1) 報告の申し込みは、必要事項を経済教育学会のホームページ <https://jsee.ecoedu.jp/> の応募フォームから、報告者氏名・所属（複数の場合は全員）、連絡先（代表者のみ、郵便番号、住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレス、携帯電話等の緊急連絡先）、報告論題、報告要旨（300 字程度）を入力し、6 月 29 日（土）までにお送りください。

2) 報告の採否は 7 月 13 日（土）に開催される理事会で決定してから、ご連絡します。申し込みが多数にのぼる場合、次回の全国大会または春季研究集会でのご報告をお願いする場合があります。

3) 報告が採択された方は、報告要旨集の原稿（図表も含めて 40 字×35 行、2 ページ以内）を作成し、電子メールの添付ファイルにて、8 月 24 日（土）までに、株式会社サラト 経済教育学会担当 E-mail : office@ecoedu.jp までお送りください。これを素材に「報告要旨集」を学会ホームページで公開の予定です。原稿の書式は、経済教育学会のホームページからダウンロードできます。2 ページという分量には、図表など一切を含みますので、ご注意ください。お送りする執筆要項に合わせて作成し、ページ番号、ヘッダー、フッター等はいれなくてください。

4) 報告応募者は年会費を納入してください、新規に入会される場合には、報告申込時に年会費 5,000 円（65 歳以上のシニアの場合は 2,500 円、学生・院生の場合 2,000 円）の納入をお願いします。

宿泊施設

最寄り駅〔田県神社前駅〕には、宿泊施設がありません。近いところだと多くはありませんが、犬山駅と小牧駅にあります。早めの予約をお勧めします。犬山駅周辺は観光に便利です。小牧駅には駅直結の名鉄小牧ホテルがあります。名古屋市内には多数ありますが、犬山キャンパスまで時間を要します。

観光のご案内

せっかく、犬山にいらっしゃるのであれば、次はいかがでしょうか。

1. 犬山城と城下町（本町通り）

日本最古の天守閣と情緒あふれる城下町（本町通り）をお楽しみください。9 時から入場登閣できます。観光後に、犬山キャンパスまでお越しください。

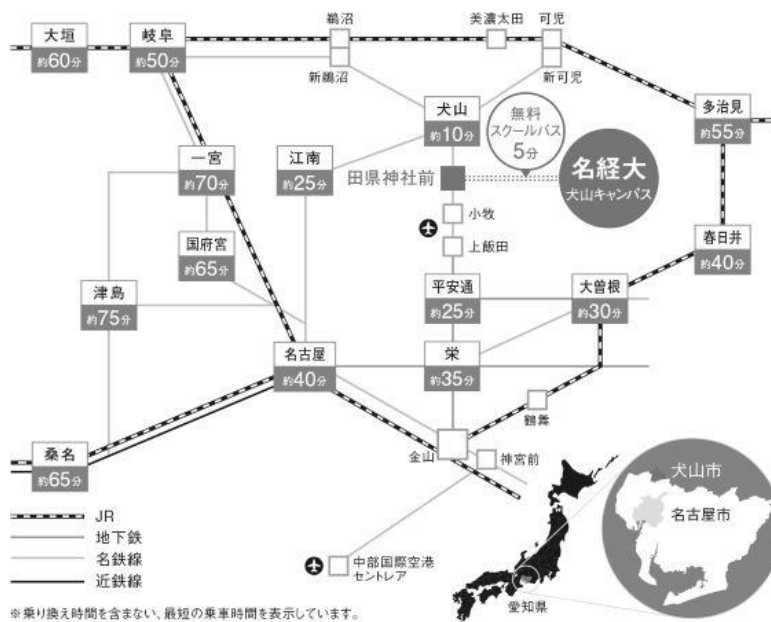
<https://inuyama.gr.jp/map-transportguide/pamphlet>

2. 木曾川うかい

昼の鵜飼もありますが、夜の鵜飼がおススメです。前日入りして 27 日（金）の夜の鵜飼はいかがでしょうか。金曜日夜は一番人気なので、即時予約をお願いいたします。犬山駅周辺に宿舎があります。

<https://kisogawa-ukai.jp/>

名古屋経済大学犬山キャンパスへのアクセス



【名古屋駅】---名鉄犬山線 約 26 分 (快速特急) ---【犬山駅】---名鉄小牧線 約 9 分---【田県神社前】---スクールバス 約 5 分 (徒歩 15 分) ---【犬山キャンパス】

参加申し込み

大会参加をご希望の方は 9 月 13 日 (金) までにお申し込みください。参加費は 2 日間とも無料です。
 申込方法: 経済教育学会のホームページ <https://jsee.ecoedu.jp/> の参加申し込みフォームから下記の必要事項を入力して下さい。受付は 8 月下旬から行います。

【必要事項】 参加者氏名・所属・連絡先 (郵便番号, 住所, 氏名, 電話番号, ファックス番号, 電子メールアドレス), 会員・非会員の別, 昼食弁当注文 (日曜日) の有無、懇親会の出欠。

※29 日曜日、大学及び田県神社前駅周辺にもコンビニはないため、持参できないのであれば HP にて昼食弁当注文をお願いいたします。28 日土曜日にも必要であれば、大学及び田県神社前駅周辺にコンビニはないため、各自で事前の購入等をお願いいたします。ドリンクの自動販売機だけが稼働しています。

問い合わせ

〒484-8504 愛知県犬山市内久保 6 1-1
 名古屋経済大学法学部 高橋勝也研究室内
 経済教育学会第 35 回全国大会実行委員会
 Tel: (0568) 67-0511 Fax: (0568) 67-4299
 大会専用 Email: econnagoya2019@gmail.com



学会運営と情報共有の円滑化のため、メールアドレスの登録をお願いしております。登録されておられない方やメールアドレスを変更された方は学会事務局のメールアドレス office@ecoedu.jp に御知らせ願います。左の QR コードより、携帯メールから登録可能です。

2019 年春季研究集会報告

2019 年 3 月 23 日 (土) に明治大学駿河台校舎において、経済教育学会の春季研究集会が開催された。研究集会の参加者は会員約 30 名、非会員を含めると 35 名程度、懇親会の参加者も 20 名であった。共通論題を設けなかったが、報告は 7 報告が集まり、内容も経済教育学会のアクティブな活動を反映し多彩なものとなった。

第 1 報告は「経済学の科学的性質と教育」、報告者 岩田年浩、岩田順敬 (東工大)、楚天舒 (千葉大)、李必恒 (芝浦工大)、武井康浩 (みずほ情報総研) で、理工系の学生が親しんでいるフーリエ変換を株価などの変動に適用した興味深い教育の試みの報告であった。

第 2 報告は「福井県の女性就業の状況と活用の課題」、報告者 中里弘穂 (福井県立大学) で、福井県の女性の就業率や共働き率や正規雇用率も高いにもかかわらず、管理職比率は全国の低位にある現状を踏まえ、東京都を中心とする大都市と地方の女性就業の実情を対比した報告であった。福井県の事例が地方の女性活用の問題を浮かび上がらせる内容である。

第 3 報告は「教材開発:経済系への専門科目における理科・科学の前提知識の補充について～資源・エネルギー論を題材に～」報告者 小川健(専修大学)で、経済学の教育において理科・科学の基礎知識の必要性を示す教材開発の試みである。経済学教育においては数学の能力の必要性が強調されるが、本報告は「経済数学」というよりも経済学を学ぶ上で必要な学力知識として理科や化学の重要性を指摘している。

第 4 報告は「韓国における問題中心・統合中心の経済教育の事例比較:『共通社会』と『統合社会』の経済関連の内容を中心に」報告者 金景模 (キム・キョンモ、韓国慶尚大学) で、韓国の高校の経済教育は、経済学の基礎概念の教育、経済学教育の性格を持っていることを示す報告であり、韓国と日本の教育の相違を議論する機会となった。

第 5 報告は「CORE-ECON 「ユニット 1, 8, 9, 16」の指導者用ガイドブックの作成」報告者 水野勝之 (明治大学)、久井田直之 (日本大学)、井草剛 (松山大学)、竹田英司 (松山短期大学)、一本木蓮 (明治大学)、原田凌弥 (明治大学)、丸井颯 (明治大学)、山本隼也 (明治大学) で、学会が進めている COREECON (経済学教科書) についての報告である。COREECON (経済学教科書) の中心となっているロンドンを訪問し、このプロジェクトで試作しているガイドブックの内容を報告したものである。

第 6 報告は「決済システムの将来に関する合同ゼミプロジェクト」報告者 小早川周司 (明治大学)、齋藤哲哉(日本大学)で、明治大学・小早川ゼミと日本大学・齋藤ゼミの合同ゼミの報告である。最近の学生が関心を持ちやすいフィンテックなど新しい金融の問題について国際比較を交えて報告がなされた。

第 7 報告は「チューリップ球根産業—アクティブラーニング—」報告者 新里泰孝(富山大学)で、チューリップ球根産業を取り上げたアクティブラーニング事例であり、クイズを交えた授業を参加者が体験した。

今回の春季研究集会は以上のように多彩な報告が集まり、活発な研究集会となった。

(文責: 八木尚志)



開催日時：2018年12月1日（土）12：45－14：15

開催場所：大阪教育大学天王寺キャンパス

出席者：岩田年浩、大坂洋、河原和之、齋藤哲哉、関本祐

希、高山新、中谷武雄、新里泰孝、裴光雄

定足数 30 名、出席 9 名、委任状 18 名

◆議長選出◆

新里泰孝理事を議長に選出、書記は高山新理事を選出。

◆報告事項◆

1. 会長の選出

新会長として裴光雄理事（大阪教育大学）が就任することが報告された。

2. 新ホームページへの移行

2018年12月7日（金曜日）までに移行することが確認された。

ホームページ内の英称 Japan Society of Economic Education は会則に合わせて「of」ではなく「for」に修正する。

新ホームページのコンテンツについて、大坂洋理事よりテスト版のデザイン画像が示され、出席理事で確認をした。

新ホームページ上にはワーキングペーパーの規約をのせて、投稿してもらうようにする。またワーキングペーパーの運用手順として以下のことが確認された。受付は事務局が行い、内容に関わっては、アカデミックな視点からの最低限のチェックをワーキングペーパー担当の理事に依頼するが、研究分野によって異なる点もあるので、各々の分野に精通した会員に協力をあおぐこともある。ホームページ上に申込用紙を置き、提出ファイルの形式等についてはそこに記載する。その他問題があれば、運用する中で修正していくこととする。

3. その他

2019年度の全国大会は、他学会の日程も考慮して、9月28日・29日で行う方向ですすめる。

裴光雄会長より、略称の JSEE についても会則に掲載するよう総会ではかる旨の発言があった。

裴光雄会長より、2018年12月7日に岩田年浩理事とともに中国マクロ経済教育学会に出席すると報告を受けた。

◆審議事項◆

1. 学会賞選考委員について

学会賞選考委員は以下のとおり選出された。

岩田年浩理事、大坂洋理事、齋藤哲哉理事、高山新理事、以上に加えて、水野英雄理事、松尾匡理事、そして柴田透会員にも加わっていただくよう裴光雄会長から依頼することとした。

2. 学会賞規定について

学会賞の規定の変更（現行の経済教育学会奨励賞の被推薦対象者の35歳までの年齢制限を41歳に引き上げる・推薦受付期間の締め切りを3月末から2月末に変更する）については総会での審議を経ていないので、2019年度は現行の規定で取り運ぶこととする。

3. 学会賞の募集について

上記2の理由により従来通りとする。

4. 学会業務の役割分担について（配布資料あり）

役割分担について以下のとおり選出された。

- ・事務局長：齋藤哲哉理事
- ・会計：久井田直之理事
- ・事務局：高橋勝也理事
- ・国際交流：阿部信太郎理事、関本祐希理事、裴光雄会長
- ・ワーキングペーパー管理：井草剛理事、竹田英司理事。さらに飯嶋香織理事に加わっていただくよう裴光雄会長から依頼することとした。
- ・ホームページ管理：大坂洋理事、川合宏之理事
- ・学会誌編集：久井田直之理事、高橋勝也理事、竹達健頭理事、田中淳理事、中畷剛理事、八木尚志理事
- ・地域研修会：水野勝之理事に加えて、東西に担当を置くために徳丸夏歌理事にも加わっていただくよう裴光雄会長から依頼することとした。なお、地域研修会という名称については、授業紹介・学校訪問等内容に即したものに変更するよう今後検討していくこととした。
- ・会計監査：塩田尚樹理事、浅野忠克理事
- ・2019年度大会理事：高橋勝也理事
- ・COREプロジェクト：八木紀一郎理事（代表）、久井田直之理事、新里泰孝理事、水野勝之理事、徳丸夏歌理事、井草剛理事、宇佐見義尚理事、大坂洋理事、川合宏之理事、塩田

尚樹理事、竹田英司理事、裴光雄会長、宮下春樹会員

(高山 新)

経済教育学会 2019年3月23日 拡大理事会議事録

日時：2019年3月23日(土) 11:32~12:38

会場：明治大学駿河台校舎リパティタワー 1163 教室

出席者：岩田年浩、井草剛、宇佐見義尚、大坂洋、久井田直之、齋藤哲哉、高橋勝也、高山新、中里弘穂、新里泰孝、橋本勝、裴光雄、水野勝之、八木尚志 オブザーバー：数名 定足数 30名、出席者 16名、委任状 11名

◆議長・書記選出◆

会議に先立ち、議長に裴会長を、書記に橋本理事を選出した。

◆報告事項◆

1. One day conference について

議長より、昨年9月の定例全国大会二日目が台風により中止せざるを得なかった事態の代替企画として12月1日に開催された One day conference の概要について報告があった。8本の研究報告がなされ、一定の役割は果たせたのではないかということであった。

2. 中国における「経済教育学会」の設立準備に関する情報について

議長より、昨年12月8日に開催された海南島での研究会に参加した際、中国のマクロ経済学会の下部組織として経済教育学会(仮)が設立される情報を得たこと及び6月に北京で開催予定の設立大会への本学会からの出席要請があり内諾したことについての報告があった。本学会として当該組織との今後の交流内容は未定ながら、国際化を推進する点から前向きに考えたいという主旨であった。

3. 韓国経済教育学会 2019 冬季学術大会について

議長より、2月14日に韓国成均館大学(성균관대학교)で開催された韓国経済教育学会(K E E A)2019 冬季学術大会に、学術交流枠を活用して専修大学の小川会員が参加し報告したこと、一部参加のみであったが齋藤事務局長も参加し意見交流をしたことの報告があった。

4. 学会誌『経済教育』38号の編集状況について

高橋編集委員長より、次号38号の編集について状況報告があった。また、関連して、図書館リポジトリへの登録問題を編集委員会として検討中であり、次回理事会で具体的提案をしたい

という経過報告があった。

5. HPの移行について

大坂理事より、バージョンアップその他の理由から移行中のHPについて、現在、普通にネット検索すると古いページが出てしまうが、簡単なクリックで新ページに移行できる措置を講じているということに関する実演紹介があった。また、新ページに対する様々な要望を寄せてほしいという依頼がなされた。

6. 学会賞選考について

大坂理事より、学会賞選考についての応募状況報告があった。選考委員長には岩田理事が就任し、締め切りを待って選考を開始するとともに奨励賞の年齢引き上げや理事会推薦の導入問題なども検討する予定であるとの報告であった。

◆審議事項◆

1. 2019 年度予算案について

久井田理事より、資料に基づき、2019 年度予算案の提案があり、審議の結果、承認された。例年、決算承認と併せての次年度予算案審議という形をとってきたが、7月理事会ないし全国大会での理事会での審議だと年度が始まってからの審議となることが多少不自然なため、試行的に3月理事会での審議となったが、2018 年度予算との対比や決算予定額、繰越予定金の増減等の判断データもあるため違和感はなく、特にその点での異論は出なかった。内容的には学会誌印刷経費の若干の増額とその根拠等の説明があった。関連して、参加者から、経費節減目的も兼ねて学会誌の全国大会時の手渡しを導入し、編集作業をそれに間に合わせてはどうかという意見が出たが、誰に渡したかのチェック作業が煩雑であることなどから現行通りで行くこととなった。また、会費値上げを検討してはどうかという意見も出たが、繰越金も安定しており緊急性はなく、特に中等教育の会員拡大の観点からも当面は据え置くということになった。

2. 2019 年度全国大会について

高橋理事より、資料に基づき、2019年9月28日~29日に名古屋経済大学で開催予定の全国大会の具体的提案があり、審議の結果、了承された。諸般の事情から、当初、予定されていた名古屋駅近くのキャンパスから犬山キャンパスに会場変更せざるを得ないこと、理事会を時間的余裕を持って開催したいため、理事会の開催は例年より早く10:30開催とすることなども大きな異論はなく了承された。愛知県等の各教育委員会等への後援を検討中とのことであり。大会プログラム概要についての説明もあった。尚、例年、その具体的準備のために開催する7月理事会は当初の名駅キャンパスでの開催予定とのことであ

った。

3. 2020年春季研究集会について

齋藤理事より、来春の研究集会開催予定だった会場が担当理事の都合で開催困難となったことから会場変更するが、現時点では開催校が決まっておらず、継続審議となった。

4. 地域研修集会について

水野理事より、資料に基づき、5月18日に神奈川県の高橋学苑中学・高校で開催予定の第4回地域研修集会及び5月25日に大阪教育大学天王子キャンパスで開催予定の第5回地域研修集会についての企画概要提案があり、了承された。

(橋本 勝)

速報 KEEA 夏季学術大会について

韓国経済教育学会夏季学術大会が慶北大学(大邱市)で開催されるとの連絡がありました。学術協定に基づく派遣の案内は後日、本学会のホームページとメルマガでお伝えいたします。詳細については今しばらくお待ちください。

会費納入のお願い

2019年度の年会費の納入をお願いいたします。2019年4月上旬の納入状況に基づいております。前年度(2018年度)以前の会費の納入がまだの方には複数年分の会費が振込用紙に記載されておりますので、ご注意をお願いいたします。

また、特別会員制度により、65歳以上の方は年会費が2,500円となります。該当する方は学会事務局へのメール(office@ecoedu.jp)もしくは、事務委託先 株式会社サラトまで御連絡願います。下記の振込口座での振込みも可能です。

ゆうちょ銀行 口座番号：00920-3-252875

口座名義：経済教育学会

年会費：正会員 5,000円、学生会員(大学院生を含む) 2,000円、65歳以上の会員 2,500円

経済教育学会は日本学術会議協会学術研究団体
(詳細は <http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>)
です。学会費は所属先の校費にてお支払頂ける場合があります。

<会員の異動>新入会員

2018-9 年度新規入会会員 (ニューズレター第 30号以降)

正会員 安田俊一 (松山大学経済学部), 平賀 緑, 沢田和哉 (早稲田実業学校), 松野成悟 (宇部工業高等専門学校), 高橋桂子 (実践女子大学), 北達勝久 (活水女子大学), 玉井涼 (橘学苑中学・高等学校)

学生会員 吉岡陽祐 (筑波大学人文社会科学研究科)

特別会員 小岩利夫 (橘学苑中学・高等学校)

編集後記

学会事務局会計を拝命してから約3年半が経ちました。引継ぎ時に3年後以降に学会運営が難しくなると予想された財政状況の再建を託されて、齋藤事務局長の元で地道な経費削減に取り組んできて、何とかその三年を乗り越えることができました。財政状況の悪化を避けることができているのは、理事や会員の皆様の活発な学会活動のおかげだと思っております。この場をお借りして、お礼申し上げます。今後も会費についてなど、財政面での課題はありますが、今の学会の皆様のエネルギーを持ってすれば乗り越えることができると感じております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

学会のチームプロジェクトのCORE-Econのガイドブック作成についても、今年度の第一版の完成を目指しております。経済教育と英語教育の融合を目指す研究活動であり、これからの大学教育にもインパクトを与えることができる研究になると考えております。そのような経験をさせていただけるのも経済教育学会のおかげです。経済教育学会の今後のさらなる発展に貢献できるように努める所存です。
(久井田 直之)

経済教育学会 ニューズレター 第 31 号

2019年5月1日発行 発行人 経済教育学会 会長 裴光雄
編集人 齋藤哲哉 久井田直之

発行所 日本大学経済学部 齋藤哲哉研究室 〒101-8360 東京都千代田区三崎町 1-3-2 電子メール office@ecoedu.jp

学会費送金先 ゆうちょ銀行 振替口座番号 00920-3-252875

印刷所 株式会社 エムディーエス 03-5829-4960